

市民団体活動事業



■市民団体活動事業とは

下野市自治基本条例の基本理念である「市民が主役のまちづくり」を目的とし、市民団体が、地域のため、社会のために自主的に取り組む市民活動等の事業を推進するための公募型補助制度です。

申請のあった事業は、選考会（会長＝宇都宮大学陣内雄次教授）において公益性や発展性等を審査し、定められた基準を満たした事業に補助金を交付します。

■平成27年度補助事業について

今年度の補助決定事業は、10事業です。昨年度より5事業が継続、5

事業が新規申込みとなり、まちづくりの原動力となる市民活動が活発になっていきます。



平成26年度からの継続事業「いのちのおはなし」の様子

■平成27年度下野市市民活動補助事業一覧

No.	事業名（団体名）	事業概要	種類
1	いのちのおはなし（えがおのたまご）	市内の幼稚園、小学生を対象に出産等に関する体験型の出前授業を行い、命の大切さを子ども達に伝える活動を行う。（通年）	継続
2	婚活イベント事業（石橋ライオンズクラブ）	独身男女に出会いの場を提供し、結婚後下野市への定住促進を図る。また、恒例事業として定着を目指す。募集定員：男性20名女性40名（男性参加者は、市民限定。）実施予定日：6月14日（日）	新規
3	ジャコウアゲハの保護事業（下野市自然に親しむ会）	ジャコウアゲハの餌であるウマノスズクサを適正に管理することにより、絶滅の危機にあるジャコウアゲハの数を増加させ、市内の自然を豊かにしていく。また、吉田西小学校のビオトープにウマノスズクサを移植し、児童達にジャコウアゲハを観察する機会を提供し、自然を大切にすることを育む活動を行う。（通年）	継続
4	こどもの健全育成事業（東方台地コミュニティ推進協議会）	友愛館と健康広場を活用して、日本の伝統的な行事の意義や昔遊びの良さを子ども達に教えながら交流を深める。地域住民との交流と伝統文化の向上を目指す。（通年）	新規
5	お雛会の復活と継承（仁良川コミュニティセンター運営協議会）	伝統芸能の復活継承・人材育成を通じて、大人と子ども・老若男女・新旧住民の交流連携・他団体との交流を図る。（通年）	新規
6	しもつけマーケット事業（シモティ）	地域の活性化、地域住民の世代を超えた幅広い交流、地域商業の認知向上を目指し、地域住民による地域住民のためのイベント（仮称）しもつけマーケットを開催し、市内を中心とした商店、アーティスト、農作物生産者等の出店協力によって、物販、ワークショップ、展示、発表等を行う。（実施予定：8月・12月）	継続
7	おこと体験ワークショップ事業（箏・樹陽会）	伝統音楽文化の継承のため、主に小中学生を対象に箏（こと）の体験ワークショップを開催する。箏（こと）の歴史や楽器の説明。子ども達との交流を取り入れながら、箏（こと）の音色の美しさを実際に体験する講座やコンサートの開催。（実施予定：9月）	継続
8	けやきサポーター（けやきサポーター）	地域ぐるみで市内の障がい児童の活動を見守り、支えていくため、けやき通園者の保護者を中心に会を立ち上げた。けやき通園者以外の障がい児と保護者、地域ボランティア、けやき職員等を広く募集し、障がい児童向けの「ダンス教室」、保護者の交流の場としての「学習会」、療育に対する情報提供の場としての「発達育児相談」を行う。（通年）	継続
9	下野天平フェスティバル来場者数増員計画（下野天平フェスティバル実行委員会）	天平の丘の自然を活用し、花見以外にも人の流れをつくるイベントの開催。大人から子どもまで様々な人が楽しめる音楽・芸術を通じて地域活性化を図る。（実施予定：10月）	継続
10	体験 広報しもつけ読み解く技術 デイジー版CD作成（音訳ボランティアこだま）	広報しもつけを聴覚障害者へどのように伝え音訳CDを作成しているのか、体験活動を通じてその必要性を理解してもらう。この活動を通し、音訳ボランティアに興味をもち活動に参加する人材を育成する。（実施予定：7月～9月）	新規（トライコース）